



高田 本山 だより

発行所
真宗高田派宗務院内
三重県津市一身田町2819
電話 059-232-4171
FAX 059-232-1414
HP www.senjuji.or.jp



発行部数 34,000部

無数の縁を求めて



宗務総長 青木眞曉

高田第二世眞佛上人七五〇年忌

高田第三世顕智上人七〇〇年忌

平成二二年五月二日～一五日

御影堂平成大修理落慶法会

平成二三年四月

お待ち受け法会

平成二四年四月六日～一六日

開山聖人七五〇回遠忌報恩

大法会

平成二六年四月

一光三尊佛御開扉

このように年度を追って行事・法会が続きます。

来年の大恩会は、まず本寺

専修寺で三月二八日～三〇日

厳修されます。これに伴い両

上人をお迎えする参拝の旅三

月二九日～三十一日二泊三日の

募集中で締切二〇年二月二〇

平成二〇年四月一八日～二〇日
大恩会

高田本山が静寂の中に、只
只重厚な時の流れを感じさせ
るためなのか……。
その建造物保存修理工事が
今日まで約十年間の日々が過
ぎてきました。
今年内には御影堂、新防災
施設の引き渡し十二月二十
日に行われ、年内に御影堂什
物の搬入が終わります。御影
堂工事募財に当たりましては、
お同行、住職各位並びに奉賛
者ご一同からの多額のご懇志
を寄せられ改めて深甚の誠意
を捧げる次第であります。
今後の高田本山の主要な行
事計画は、

8月に発足した新内局。左から藤山教
学総務、青木宗務総長、長岡庶務総務。



日定員四〇〇名です。ぜひ本
寺への旅の誘いにご参加下さい。
今日ほど文化が急激に進化
し繁栄して日々の報道には人
間関係の亀裂が深く、心に響
き合う和の世界の困難さを知
らされることが多く、人間同
士が認めあえ尊重できるよう
な時がどうすれば得られるのか。
一人一人の存在の意味が切実
に問われています。このよう
な意味においても高田派教団
興隆の重要な課題であり、多
くの人々へのアプローチが必
要であります。今後の本山諸
行事・法要へのご参詣と共に
高田派を挙げた体制の確立を
常にお同行とともに大切にし
たいと念ずるものであります。



経蔵を改造して
戦没者位牌堂へ

宝物館主幹 平松令三

如来堂のすぐ西隣りに、小さなお堂が建っています。正面の入口を別として、周囲はみな白壁で、飾り気の少ない三間四方の正方形のお堂です。屋根は頂上に宝珠をのせた方錐形です。建築学ではこういうのを「宝形造」と言います。

宗務院の担当者におねがいして入口の扉をあけてもらって中へはいると、中も三方とも白壁で、その中ほどを仏壇に作り、そこに小さな位牌がズラリと並べられています。数えてみませんが、おそらく千は越えていたでしょう。これは先般の大戦において、戦没された(門徒の方々で、その数の多さに、あらためて深い感慨を覚えます。

正面のご本尊は、お厨子に入った童児形の聖徳太子像で、黒い馬に乗り、弓矢を抱えておられます。全体の高さは18cmほどの小さなお像で、制作は江戸時代です。

このお堂は、明治五年(一八七二年)に経蔵として建築され、五千巻の一切経が納められていました。大東亜戦争でご門徒の多くに戦死者がでたことから、一切経は他へ移し、内部を位牌堂に改造したものです。ところで江戸時代の古絵図をみますと、現在の宗務院のすぐ東にある蓮

池の中央に鳥があつて、そこに経蔵が建っているように描かれています。この経蔵はどうなつたのかわかりません。

私はかねてから、宗務院の南の石橋のたもと、石灯籠の裏にある小さい塚を、池の中の経蔵の焼けた灰を埋めたものだと思つていました。というのは、塚の上に「一切経灰塚」と彫つた小石柱が立っているからです。ところが今度調べてみますと、石柱の裏に「昭和五年建之」と刻つてあるではありませんか。

明治初年に焼けたとしても、昭和五年までは余りにも年月がはなれていたので、私の推測は誤つていたのかと思ひました。しかし幸いにもその石柱を建立した施主の子孫が、一身田に居住しておられることがわかったので、問い合せてみると、「あの経塚は昔からあつたが、参詣の人たちが、小便をしかけたりするので、曾祖父が石柱を建てた、と聞いている」との事で、私の推測もそう誤つていなかった、と安心したことでした。



御本山御用達

鍵長法衣仏具店

京都市下京区油小路正面東入(中央局区内)
電話 (075)371-0854・8181~2番
FAX (075)344-2701番
振替口座・01070-3-972番 郵便番号600-8344

京仏壇京仏具・ご本堂内装
お仏具ご修復・お納骨壇



高田本山御用達

京仏具

小堀

本店/京都市下京区烏丸通正面上る ☎(075)341-4121(代)
東京店・練馬店・福岡店・札幌店・小堀京仏具工房

無料進呈! お役に立てて下さい

◆成功談と失敗談に学ぶ 新築・改築のノウハウ「100のヒント」

お申し込みはこちらから フリーダイヤル(本店) 0120-27-9595

専修寺御影堂平成大修理の ご報告・御復座法会のご案内

御影堂修理事務局局長 岩田 光正

高田派の檀信徒の皆様におかれては専修寺御影堂平成大修理に対してご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ご承知の通り、平成十二年一月から始まりました重要文化財専修寺御影堂の修理も順調に進んでおりこの十二月二十日に修復されます御影堂が設計監理の(財)文化財建造物保存技術協会・工事請負の(株)竹中工務店より、専修寺に引き渡される予定です。

これまで平成十二年四月の



奉告法会・起工式、同年五月の御遷座法会、同年九月からの素屋根の仮設工事、平成十三年三月からの瓦降ろし、同年六月からの修理工事現場の見学開始、平成十五年の募生の生彩色、平成十五年三月の古瓦洗浄奉仕、同年五月の瓦葺上げ式・中間奉告法会、平成十七年二月の大棟獅子口の据え付け、平成十七年十月からの素屋根の解体、今年の九月二十一日の見真額の取り付け、十一月十二日から工事区域周囲の柵の撤去、十一月二十九日に文化庁の検査、十二月に入り畳のから拭きをし、十二月二十日に引き渡しを予定しています。

新しくなった御影堂で御復座法会を来年一月八日に厳修し、報恩講を八年ぶりに御影堂で執り行います。寒い中ですが、檀信徒の皆様にはお誘いの上ご参詣をお願い申し上げます。

蓮募集のお知らせ



来年(平成20年)の3月頃に蓮の根分けをします。蓮の管理費の一部にする為に、ご希望の方にお分けしたいと思います。数量に限りがありますので先着順でお願いいたします。

期間 2月28日まで

金額 1万円(Φ50×h40瓶付)

連絡先 本山宗務院藤原まで

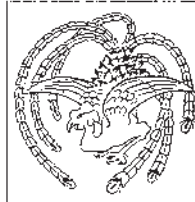
TEL 059-2332-4171

蜀紅蓮	1中型	ピンク
白碧台蓮	2大型	白
アメリカ白蓮	2大型	白
小寿星	2中型	爪紅
劍舞蓮	2大型	白
明光蓮	2大型	ピンク
	11鉢	

御復座法会のご案内

平成二十年一月八日(火)

- ◆ 午前10時～10時三十分
如来堂で勤行
- ◆ 午前10時三十分～11時
御復座行列
如来堂～通天～御影堂
- ◆ 午前11時～12時三十分
御影堂で勤行



仏壇・仏具
ぬし与

ホーオーが目印!

六代目 (株)ぬし与仏壇店

桑名本店・四日市店・鈴鹿店・蟹江店・大安店・阿下喜店

報恩講行事

一月九日(水)
 十二時三十分 速夜勤行 説教 隆 妙艶師
 十六時三十分 初夜勤行 説教 中西善薫師
 一月十日(木)
 七時 晨朝勤行 説教 鷲山了悟
 十時三十分 日中勤行 説教 比良多道晃師
 十二時 お七夜坊守会
 十二時三十分 大講堂 説教 真置美徳師
 十四時 速夜勤行 説教 水谷大延師
 十六時三十分 初夜勤行 説教 里榮秀教師
 一月十一日(金)
 七時 晨朝勤行 説教 大河戸悟道師
 九時 高田学苑報恩講参拝
 十時 高田保育園報恩講参拝
 十時三十分 日中勤行 説教 堤 妙縫師
 責任役員会
 十二時三十分 千草篤昭師
 大講堂 説教 真昌智海師
 十四時 速夜勤行 説教 金森顕宏師

十六時三十分 初夜勤行 説教 田上洋心師
 一月十二日(土)
 七時 晨朝勤行 説教 安藤章仁師
 十時三十分 日中勤行 説教 花山光瑞師
 十二時 お七夜婦人連合会
 十二時三十分 大講堂 説教 井東信道師
 十四時 速夜勤行 説教 伊藤泰臣師
 十六時三十分 初夜勤行 説教 田上洋心師
 一月十三日(日)
 七時 晨朝勤行 説教 長谷部行雄師
 九時 特別講演 栗原廣海師
 十時三十分 日中勤行 説教 織田信海師
 十二時三十分 大講堂説教 藤澤真純師
 十三時 お七夜子ども大会
 十四時 速夜勤行 説教 廣田隆学師
 十六時三十分 初夜勤行 説教 都築堯寛師
 一月十四日(月)
 七時 晨朝勤行 説教 清水谷正尊師
 九時 特別講演 稲垣舜岳師
 十時

他山御代香
 十時三十分 日中勤行 説教 千草篤昭師
 十二時三十分 大講堂説教 林 浄光師
 十三時 お七夜青年大会
 十三時三十分 新成人の集い
 十四時 速夜勤行 説教 谷口光進師
 十六時三十分 初夜勤行 説教 三栗家篤証師
 一月十五日(火)
 七時 晨朝勤行 説教 藤井徳雄師
 十時三十分 日中勤行 御親教 小妻道生師
 復演 十一時三十分 法主褒賞式
 十二時三十分 大講堂説教 齋藤正澄師
 十四時 速夜勤行 説教 松山智光師
 十六時 お七夜婦人連合会初夜参詣
 十六時三十分 初夜勤行 説教 戸田信行師
 十九時頃 白塚ししこ念仏
 二十時頃 護持会通夜念仏
 二十三日 後夜
 一月十六日(水)

◆その他
 一月九日～十六日 お七夜献書展
 お七夜写真展
 一月十日～十五日 お七夜生花展
 一月九日～十六日 真宗高田派専修寺絵所
 安川絵師が描く天井画展
 一月九日～十六日 宝物館特別拝観
 一月九日 十二時～十五時
 一月十日～十五日 十時～十五時
 一月十六日 十時～十三時
 宝物館説明
 一月十日～十五日 午後一時
 一月九日～十六日 案楽庵見学
 一月九日 十四時
 一月十日～十五日 十二時～十四時
 一月十六日 十時
 (天候等により中止の場合あり)
 一月十日～十五日 十時～十五時
 お尋ねコーナー

ご法事のご会食 ご予約承り中
 ～少人数から団体のお客様まで是非ご利用ください～



お薦め商品(精進+和食ミックス)
本山会席
 各種献立よりお選びいただけます。
 ◇精進料理 1人前 4,000円(税別) ◇本山会席 1人前 3,500円(税別)

人気商品 高田本山流 **精進料理**
 お問い合わせ・ご注文は 高田本山宗務院 TEL.059-232-6079

世の中安穩なれ 仏法ひろまれ
 普段見ることのできない**職人絵師**の世界をご紹介します。
 ごほんざんえどころ
御本山絵所展
 2008年 1月9日～16日
 開山聖人のご正忌報恩講大法会(お七夜)
 場所:本山宗務院2階 第3会議室
 今までにさせて頂いた仕事の一部を紹介させていただきます。伝統文化技術をどうぞご覧ください。

リレー法話

「大事なこと」

蒲池 龍眼

「生きる」ことにおいて何を大事にしていますか？

浄土真宗は聴聞を大事に致します。真宗は「聞く宗教」とも言うくらいです。なぜ真宗は聴聞を大事にするのか？

こんな例えがあります。初代アメリカ大統領ワシントンの桜の木にまつわる正直の逸話は作り話だそうです。本当は、子供の頃は相当な悪ガキで、父親はあちこちと毎日お詫びして回っていました。父親は悪い息子を何とかしようと思ひ、悪さしたら家の柱に釘を一本打つことにしました。

あつという間に柱は釘でいっぱい。父親は思案の上、今度は善い事したら釘を一本抜くことにしたそうです。長いことかかひ釘が全部無くなった時に、父親は息子のワシントンに「善い事をした

から釘は無くなったけれど、お前のしたことは一生消えないのだよ。柱に残っている釘の跡を見てごらん。」と諭したそうです。

仏教ではこの柱に残った釘の跡を「業」と言います。生きていくには自分の業を見つめなくてはなりません。

そのために真宗は聴聞を勧め聴聞を大事に致します。皆さんは、「しあわせ」という字をどう書きますか？「幸せ」と書き、お金に不自由せず健康でとか仕事が上手くいくとか、そんな風に考えませんでしたか？私にとって都合のいい事を幸せと思っています

辞書を引くと「仕合せ」とあります。意味は、最初が「めぐり合わせ」、二つ目が「成り行き」、三つ目に「幸せ」とも書くと言っています。

「幸」の字は、手首に上と下から手械をはめた形を示したものを意味するので、危うく刑罰にかかることを逃れるという意味から「幸せ」と派的に用いられました。

「しあわせ」は、めぐり合わせ。人と人との出会いが本

当の幸せです。生きるうえで大事なことは、自分の業をしつかりと見定め、「この人に出会えて本当に良かった。」と心から思える人と出会うことです。

和讃に

本願力に合いぬれば
むなしく過ぐる人ぞ無き
功徳の宝海満ち満ちて
煩惱の濁水隔て無し

なぜ、私が生きているのか。今、私の命は、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上の世界のうち人間界というこの境界に命をいただいているけれども、仏になるために生きている命ですよということ。

一回限りのやり直しのきかない人生、再び生まれてくることの無い「私」です。「どう生きるのかが大事か」を求めていかねば、永劫に迷わねばなりませんと法然上人とのめぐりあわせの後、親鸞聖人はお念仏の教えを生涯説いていかれました。

（長崎県島原市 専光寺住職）

（長崎県島原市 専光寺住職）

清掃奉仕
ありがとうございます
ございました

- 平成十九年
- 九月 薩摩寺
- 十月 青龍寺
- 林昌寺
- 正因寺
- 寿善寺
- 西方寺
- 専照寺
- 花山寺
- タバコ組合



『ひとくち法話』冊子が
増刷されました。
進納所・青少年会館で
販売しています。

緑と共に75年
三重県知事免許認可
(一級造園技能士) 造園・庭園管理

山本造園

代表 山本 進一郎
津市栗真小川町 869-77
TEL 232-7453
FAX 232-7453

石筋

高田本山御用達
三重県仏教会御推薦
石碑 碑籠
石記念 燈籠

高級御影石専門店
御影石材株式会社
(石に製用の方は) イレニゴキョウ
☎ 0120-142540

本店 津市広明町(彰兜寺門前)
☎ 059-224-1700(代)

ご和讃のお話

栗廼隆興

縦令一生涯の

衆生引接のためにとて

称我名字と願じつつ

若不生者とちかいけり

(道綽禪師 第七首)



運動をしながらラジオを聞いてみると、一枚のハガキが読まれました。

「私は買い物をする時、並んでいる食品の一番古いものを選んで買います。たいてい買った品物は、今日明日にも使い切ってしまうから、わざわざ奥から新しいものを探さなくてもいいし、お店の人も新しいものばかり売られて古いものが残ってしまったら困るだろうから。」

という内容でした。

私自身を振り返って見ますと、すぐに食べてしまう物でも、ついつい新しいものを選んで奥の方から引きずり出して買っていました。自分だけは新しいものを手に入れた。たとえ古い物が売れ残っても私には関係ないという、自己中心的なあさましい心が見えたような気がして恥ずかしいか

ざりだと思いました。

現在、食品偽装の問題が連日報道されていますが、もしかしたら私のような消費期限や賞味期限の数字を必要以上に気にして、わがままな買い物をしている者が、その原因をつくっているのではないかと、思うと考えこんでしまいました。私は自分勝手な行動を棚に上げて、食品会社の謝罪会見を非難と軽蔑の眼差しで見ていることになりました。

今回は、たまたま聞こえてきたラジオによって、過ちに気づくことができましたが、私はきつと他にも周囲に色々な迷惑をかけ、罪をおかしているながら、そのことに気づかないままにしていることが、まだまだたくさんあることでしょう。

最初に頂いたご和讃は、道綽禪師和讃の最後の一首です。禪師が書かれた『安楽集』の

お心を、親鸞聖人が説かれました。その意味は、「たとえ、一生涯の間、悪業を造ることしかできない者でも、阿弥陀仏は手を取って浄土まで導かれ、我が名を称えるならば必ず往生すると願を興されて、もし往生しない者があつたならば仏とならないと誓われました。」

という意味です。

「一生涯悪」というと、新聞やテレビで報道されている特別な罪を犯した人たちの思い浮かべるかもしれせん。しかし実は、この私自身が気づかないままに次々と罪を造り続けて生きています。

私のような者でも、阿弥陀さまが必ず救いの道を開いて下さっている。さらに疑い深い私のため、浄土往生がかなわないならば仏とならない、ご自身の身を懸けてまで阿弥陀さまは私に約束をして下さっているのです。

(四日市市誓覚寺住職)



清掃奉仕

ありがとうございます

ございました

汗を流して清掃奉仕

十月十一日に、物部小学校の子どもたちが、本寺専修寺に清掃奉仕に来てくれました。

みんなで御影堂の畳をきれいに拭いて下さいました。



お墓

寺標

墓地移転

霊園開発造成

高田本山御用達
石匠位認定店
全国優良石材店、認定店

創業100余年



株式会社 ストーンズ 石仙

(旧(有)山本石材店)

四日市市近鉄阿倉川駅前

☎0593-31-4114

サイコーイン

高田本山御用達

井筒法衣店

京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)

(〒600-8503)

電話 (075)351-1234(代)

フリーダイヤル ☎ 0120-075-720

フリーダイヤルFAX 0120-075-490



親鸞聖人の生涯

シリーズ④

聖徳太子廟に参籠

比叡山にのぼられて十年がたち、聖人も十九才となりました。しかし、その十年間

の懸念なる修学・修行にもかかわらず、いやむしろ、それだからこそ、我執から離れられない我が身を見いだし、苦惱する日々が続きました。どうすれば生死の迷いを離れられるのかと苦悶し、その修行の方向や方法・内容について、大きな壁につきあたられたのです。

師を求めようにも、叡山では出会えませんでした。そこで、建久二年（一一九一年）の秋、篤く三宝（仏法僧）に帰依され、人々から救世観音菩薩の化身と敬慕される聖徳太子に問い尋ねんがため、磯長（天

阪府南河内郡太子町の太子廟（福寺）に参籠されたのです。それは「世間は虚仮なるも、ただ仏のみ真なり」と言い切られる太子を深く尊崇する情が聖人自身に培われていたからこそ、今ここで太子廟に参籠となったの

でしよう。

参籠とは、求道における行き詰まりを突破するため、寺院・道場にこもり、昼夜を問わず、深い思索と鋭い自己凝視を経て、まさに仏の声を聞かんがためです。

冷たい石畳に座り続け、太子のご生涯を鏡として、我が身の在り方（真に救われる道）を尋ねていられる中、夢告を受けられたと伝えられます。

「我が三尊は塵沙界を化す。日域は大乗相應の地なり。諦に聴け 諦に聴け 我が教令を 汝が命根底に十余才なるべし 命終わりて 速かに清浄土に入らん 善く信ぜよ 善く信ぜよ 真の菩薩を」という内容で、ここ（日本）は

本當の仏法を学ぶにふさわしい地であるから、やがてやってくる死を見据え、このまま求道に邁進し、汝自らを救済せよという太子（観音菩薩）からの力強い励ましのことばでありました。夢告を受けられるまでに、人生の根本課題を背負い続け、問い詰めていかれた若き善年僧・親鸞。その純粹でひたむきな姿勢（求道一直線）がしのばれてまいります。

太子の夢告によって、真実を求める意をますます強くし、聖人はまた新たな一歩をふみだされるのでした。（教学院第三部会）

お七夜 「お尋ねコーナー」 開設のご案内

待ちに待った御止言報因講（お七夜）が平成二十年から修復成った御影堂で厳修されます。沢山の参詣が予想され、賑やかに法会が勤まることと思えます。

さて、毎年実施しております、好評のお七夜「お尋ねコーナー」を今年も次の要領で開催いたします。どうぞお気軽にお越し下さい。

記

期間 平成20年1月10日（木）

15日（火）

時間 午前10時より午後3時まで

会場 宗務院1階ロビーに特設します。

質問 平素お気づきの仏事に

関する疑問、悩み、困

り事等何でも結構です

担当 本山教学院研究員がご相談に心じます。

矢田了章・林智康編
歎異抄の
教学史的研究
定価4200円税込

矢田了章編
「歎異抄」に問う
—その思想と展開—
定価5000円税込

藤澤桂珠著
教行信証講讃
第四巻信文類（本）
定価8925円税込

無名会同人編
仏と人43
救いということ（その五） 梯實
圓／難信の法 高田慈昭／念仏
法難八〇〇年 足利孝之／我聞
如是（二） 源義春／ある日の明
治天皇 南部松雄／茶話と茶話
二題 森正隆定価4100円税込

松塚豊茂著

光を聞く

—人間・人間関係—
人間とは関係である 人間関係は苦しみのもとであるとともに喜びのもと 苦しみを喜びに転ずる—仏陀の光り—
定価1890円税込

光を聞く

—生・老・病・死—
定価2625円税込

600-8342 京都市下京区花屋町西洞院西入
永田文昌堂
電話 0755-33711-9606511
FAX 0755-33711-906511
振替 0150-2350493331

重要文化財
真佛上人・顕智上人坐像

下野の本寺専修寺御影堂には、御開山親鸞聖人の左右に第二祖真佛上人・第三祖顕智上人の像が安置されています。あたかも対として造られたかの



ように見えますが、両像が造立された間には、百七十年の時間があります。

先に造立されたのは第三祖顕智上人像です。上人が亡くなられた延慶三年（二二一〇）に製作されたと言われていますから、上人のお姿を忠実に彫られたものだと思います。第二祖真佛上人像は文明十二年（一四八〇）の作とされています。上人が亡くなられてからすでに二二二年が経過していました。

昨年（平成十八年）四月に、両上人坐像が文化庁から重要文化財に指定されました。来年四月の大会は、両上人を本寺から本山へお迎えして法要が営まれます。四月十八日〜二十日の大会に先立ち、四月五日にご遷座されて、十万人講法会から戦没者追悼法会・千部法会も両上人が見守られる中で厳修されます。

また、三月二十九日〜三十一日まで、両上人のお迎えと本寺大会に遇っていただく旅行も計画されています。

これからの本山諸法会

◆修正会

一月一日〜三日

阿弥陀如来とともに新年を迎えられたことを喜ぶとともに、如来の恩徳を謝し如来の本願を届けて下さった祖師の方々に讃仰する年の初めの法会です。一月一日の晨朝は、法主殿が自ら御仏飯を上げられる「御親給」が行われ、ご廟でのお勤めもあります。

◆御正忌報恩講

一月九日〜十六日

お念仏の御教えをお勧めくださった宗祖親鸞聖人のご遺徳を偲び、ご恩を喜び、報謝させて頂く法会です。本山では御開山聖人のご遷化の日である一月十六日（旧暦十一月二十八日）のご御正忌をご縁として勤められます。年間の諸法会の中でも最も大切な法会で、一日四座（速夜・初夜・晨朝・日中）、七昼夜行われることから「お七夜さん」と呼ばれています。

編集後記

御影堂を囲っていた塀がはずされて、その雄大な全貌を見ることができるようになりました。

御影堂の写真の撮るには、山門の上に登って正面から狙うのが良いのですが、普段は立ち入り禁止になっているものから、関係者とは

言え、そう何度も登るわけにはいきません。できれば一回で満足りく写真の撮りたい。いつにしようか。

迷っているあいだに、すでに何回かシャッターチャンス逃したような気がしてきました。私の人生と似ています。

寺院名

守ろう みんなの文化財



最優秀賞 津市立白塚小学校6年 多羅尾 美幸さん

平成19年度 活かそう地域文化提案事業 主催 宗教法人 専修寺 後援 津市教育委員会

